

令和4年度 第3回北海道 Society5.0 推進会議
「デジタル人材育成・確保ワーキンググループ」 開催概要

1 日 時

令和4年12月6日（火）14:00～16:00

2 実施場所

北海道第二水産ビル4F会議室・Web会議

3 出席者

別添「出席者名簿」のとおり

4 議 題

別添「次第」のとおり

5 議 事

(1) 議事1 本日の会議について

・事務局（北海道）から説明（資料2）

(2) 議事2 意見交換

・事務局（北海道）から説明（資料3）

（意見交換の論点① …… 親会議への報告書の内容について）

- 6ページのローコード・ノーコード開発と一緒にしている点について、ローコード・ノーコードとノーコードは必要となるスキルレベルが異なるので分けて記載すべき。
- ローコードは高度なデジタルスキルと共創活動の中間ぐらいの人で、ノーコードの方を広く使わせるという方がいい。
- 4ページの図について、一番上のレイヤーの人の表現をもっと具体的、簡潔に分かりやすくした方がいい。
- 12ページはプレゼンの構成を変更した方がいい。例えば、STEP1、STEP2、STEP3と刻むように表みたい書き方をしてしまった方がいいのかなと思う。それぞれの人材についてもどの人材から入ってもSTEP1から入って学んでいくといった形で視覚的に成長が見えるようになる。
- 12ページに記載の取組例については、各項目がどのステップに当たるのかというのはもっと精査した方がいい。
- 12ページのSTEP2は疑似体験というよりは演習といった記載の方が分かりやすい。
- 12ページの所は育成寄りの記載となっているので、育成が確保に繋がるといったストーリーを示した方がいい。
- 29ページについて、並びが他と異なるため統一した方がいい。
- 29ページについては、ステップの表記は不要。

（意見交換の論点② …… 全体を通しての総括）

- ラーニングコミュニティについては、もっと取組を深掘りした方がいい。
- お金をかけてIT人材を育成して地元企業へ就職させることでしっかりとした基盤産業にしようとして沖縄では行っており、北海道でも出来るか分からないが出来ればよいと思う。
- 北海道は広域性という特色があるので、学びの場の環境整備は非常に重要。場では事例を知ったり、有識者の話が聞けたり、といったことが重要で情報収集が可能かは一つポイント。

- 能力認定はアウトソースするが、交流の場はしっかりと作るといった整理が重要。
- 小規模自治体はマインドを変えることがまず重要。自治体の規模や状況に応じて取組方を工夫する必要がある。
- 高校情報 I は内容はいいが、実際にスキルや知識が身につくかといった所は教員次第の面もあるので注意が必要。

(3) 議事 3 今後の進め方について

- ・事務局（北海道）から説明（資料 4）